

目標達成計画

事業所名 グループホーム はつらつ

作成日 : 平成 29 年 2 月 21 日

評価結果

市町提出日 : 平成 29 年 3 月 6 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	看取り介護において、利用者、家族、職員共にまだまだ認識、理解不足がある。看取り介護をするにあたって、もう一度、はつらつとしての方向性を決め、利用者、家族に説明と理解を求めていく。	本人、家族がはつらつでの看取りの希望があった時に、その最期が穏やかにその人らしく人生を終えることが出来るよう、職員が研さんに努めていく。家族と話し合う機会づくりをしていく。	地域推進会議を通して看取りについての話し合いを持つ。面会時、カンファレンス時に、本人、ご家族の意向の再確認、はつらつでの看取りについて話し合う機会を持つ。	3 か月
2	6~7	帰宅願望により、外へ出て行こうとされる方に対して、人が手薄な時は施錠の対応をしている。又、外へ出て行ってしまわぬように言葉での拘束など行ってしまうのではないかな。	何故自分がはつらつにいるのかが解らず、家に帰りたいたいという気持ちは当たり前であることを共通の認識とし、本人の行動を抑制したり言葉で相手の気持ちを否定したりしないように対応を図る。	本人の帰りたいたいという気持ちに寄り添い、可能な限り外へ一緒に歩きに行ったり、付き合うようにする。施錠が必要な時もある事をご家族様に十分に説明し一定の理解を得る。介護の基本のモットーを皆で申し合わせ日々の介護に取り組む	3 か月
3					か月
4					か月
5					か月